

令和4年度 第2回 帯広市都市計画審議会専門部会 議事概要

日 時：令和4年11月30日（水曜日）14時00分～15時00分（現地視察）
15時00分～16時50分（審議）

場 所：大空会館 大集会室

出席委員：小林部会長、河西委員、神田委員、窪田委員、紅葉委員（以上5名）

事務局：和田都市環境部長、篠原都市建築室長、
（都市政策課）岡田都市政策課長、中島都市計画係長、原田主任、堀田主任補

傍聴者等：報道関係者 1名

配布資料：会議次第、座席表、大空地区地区別構想について（議案書）、アンケート調査の実施について（資料1）

【次第】

- 1 現地視察
- 2 開 会
- 3 部長挨拶
- 4 部会長挨拶
- 5 議 題
大空地区地区別構想について
- 6 閉 会

【議事概要】

○議題 大空地区地区別構想について

事務局より議案書に基づき説明。

○委員からの主な意見

○ 現地視察後の地域に関する意見

- ・近隣商業地域には空き店舗が多いので、空き店舗活用の工夫があると良い。
- ・白樺の木が大空団地を遮断していることから、入りやすい道路や景観があると良い。
- ・地区の外に病院や老人ホームがあるので、そこで働いている方々を巻き込めるアプローチがあると良い。
- ・試みとして地元の野菜を取り扱っている店舗があったが、地元の学生と協力して情報発信することで価値を生み出すひとつの戦略になるのではないか。
- ・例えば児童公園もキッチンカーなどが集まれる場所として地区内に点在してあっても良いのではないか。十分に活かして使うことができると思う。

○「第1回専門部会での意見」に関する意見

- ・皆が集まる場所や楽しむ場所が欠けているという意見があったが、具体的にどのようなことをイメージしながら、これからのことを考えていくのが大事。

○「アンケート結果」に関する意見

- ・居住環境の静かさを住みやすさの要因とする回答がある一方で、商業施設の充実や交通の便を望む意見があり、大空の住宅街の雰囲気を保ったまま便利にするため、大空の外に商業施設を設ける等の考え方もあるのではないかと。

○「大空地区内での取組」に関する意見

- ・国土交通省では官と民や他分野との共創を推進する取り組みを行っているので、大空でも参考にすることが大事になるのではないかと。

○「大空地区地区別構想について」に関する意見

- ・何もないところに新しいまちを作ることとは異なり、大空に暮らしている人の生活に気を付けなければならない。
- ・これまでの店舗は場所と機能と内容をセットに考えていたが、これからは様々な場所で皆が集えるようにしていくことが大事。
- ・公園に使いやすさが加わると、人が集まり、コミュニケーションができることから、今ある公園の機能を充実させることも大切である。
- ・食と産地をうまく結びつけて、豊かな生活を送るまちの先頭を走るのが大空だと良い。
- ・大空でチャレンジすることは、帯広全体が豊かになる、あるいは十勝全体が豊かになる、そういうツボだと思う。
- ・地域の象徴的な建物を建てたとしても100年保たせるのは難しいので、人の交流する環境、いろいろな年代の方が集える場所があれば楽しい。
- ・例えばエネルギーの新しい取り組みや、防犯上安全な住宅地であることなど、地域の売りになるような取り組みを前面に出すと良い。

○大空地区地区別構想のまとめ方に関する意見

- ・地区別構想では、もう少し行政用語ではなく、普通の言葉で加えていくのが良い。
- ・言葉だけではなく、イメージ写真などを使って魅力ある地区別構想にしてほしい。